

江戸川区安全・安心まちづくり運動大綱

急増する犯罪の追放に向けて

	目 次	頁
1	策定の意義	1
2	基本方針	2
3	活動計画体系	3
4	活動計画	4
5	推進体制	7
6	付属資料	7

平成 15 年 8 月

江戸川区安全・安心まちづくり運動大綱

策定の意義

江戸川区は、65万の人々が暮らす全国有数の大都市である。首都圏の中心に位置し、水と緑の豊かな環境に恵まれるとともに、5本の鉄道をはじめ、高速道路、幹線道路の整備が進み、都心まで15分ほどという便利なまちとして注目されている。この姿は、区民と区が力を合わせ、永年かけて築き上げてきたものである。その歴史の中で、良きコミュニティと郷土愛が育ち、各地域でわがまちを守り育てる様々な運動やイベントが繰り広げられるなど、活発な活動が開かれている。そして、いま新長期計画のもと、共育・協働・安心へのまちづくりの道を歩み始めたところである。

そうした理想のふるさととして発展しつつあるが、その中で、憂慮すべき事態が発生している。それは、急速な都市化とともに、都市型の犯罪が増加し、区民の暮らしを脅かしていることである。特に、区内各駅の繁華街を中心に、外部から犯罪者が入り込み、被害が多発している。

犯罪の増加については全国的な傾向であり、平成8年以降、連続して戦後のワースト記録を更新したほか、かつて60%前後であった検挙率も平成14年は20.8%と深刻な状況となっている。その傾向は江戸川区においても同様であり、平成14年中の区内の犯罪総数は17,767件と23区で最も多い数となっている。その特徴をみると、自転車などの乗り物盗が6,658件、空き巣などの侵入盗が1,911件のほか、ひったくりなどの街頭犯罪が目立っている。また、多くの子ども達が文化・スポーツなど様々な分野で活躍しているが、一方では少年による犯罪の多さも見逃すことはできない。

こうした事態に対して、町会・自治会、環境をよくする地区協議会、青少年育成地区委員会、保護司会、PTAなど、各種の団体が自主的な防犯への取り組みを進めている。江戸川区は、区民と区、関係機関が力を合わせて多くの困難を克服してきた歴史がある。いま、そうした歴史と時代の変化を踏まえ、これまでの運動を基盤として、ここに「江戸川区安全・安心まちづくり運動大綱」を策定し、区民が日々安全で安心して暮らせるまちづくりに総合的に取り組むとともに、地域での防犯の取り組みを拡大していくこととする。

基本方針

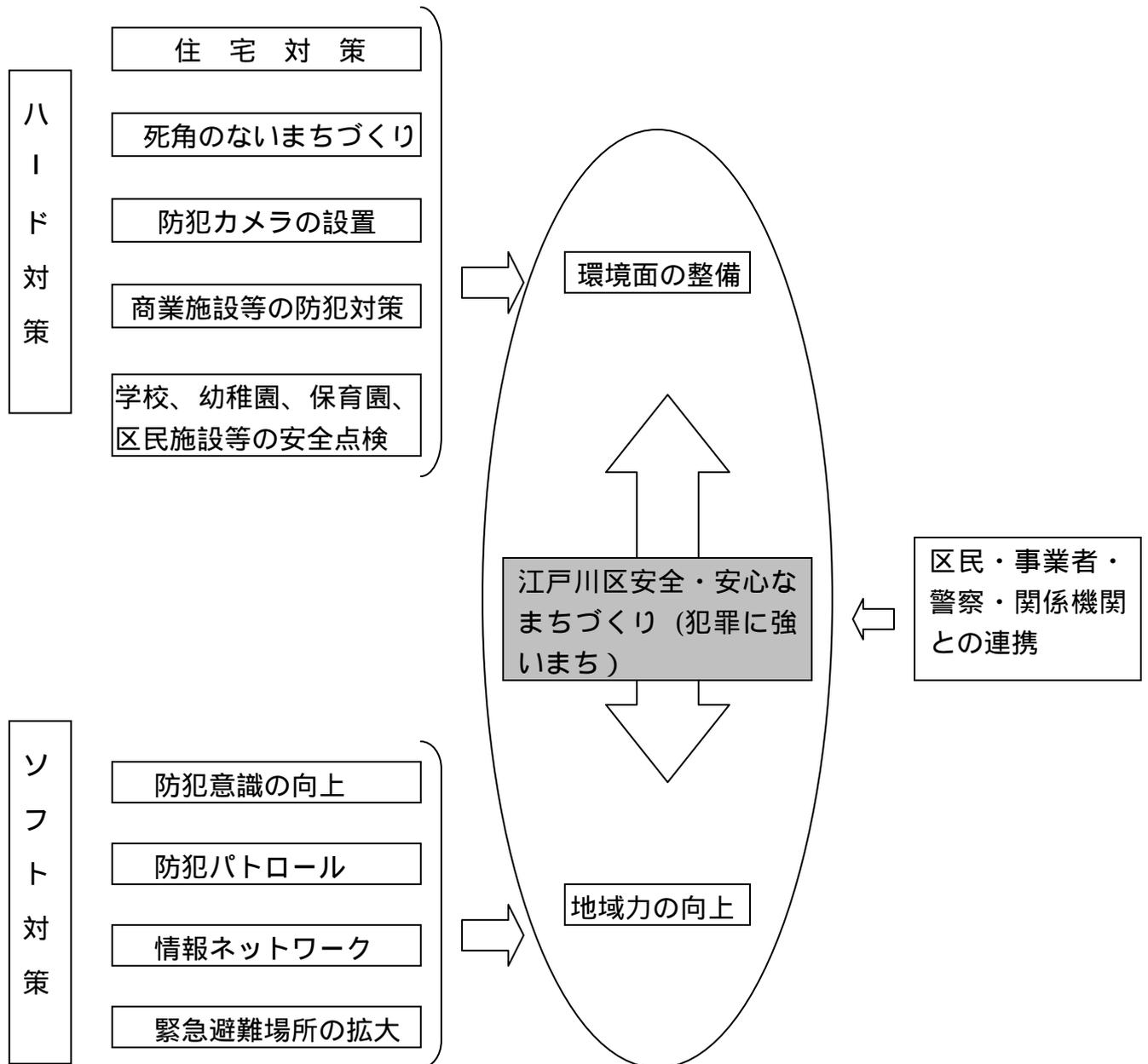
総合的な運動の推進

大綱のもと、区民・事業者・区・警察・関係機関が主体的に取り組んでいる安全・安心まちづくりの取り組みを尊重しつつ、犯罪防止のため、相互の連携を深め、総合的な運動を推進する。

地域での取組の拡大

大綱のもと、住民同士の声掛け運動など地域コミュニティをさらに深めるとともに、各種団体が推進している防犯パトロールなどのボランティア活動を拡大する。

活動計画体系



活動計画

1 ハード面の対策

犯罪の発生を未然に防ぐため、個人の住宅、公共の公園、道路などの構造・設備の点検や整備を進める。

(1) 住宅対策(区・警察)

個人の防犯対策について、その対策が行えるよう相談態勢や情報提供の充実を図る

戸建て

施錠装置の改善など防犯機能の強化について情報を提供するとともに、具体的な相談について対応できる態勢を整える……都市開発部・警察

集合住宅

管理人、管理組合、管理会社、不動産会社などに対して、建物全体の安全管理の啓発を進める。……都市開発部・警察

施錠装置の改善、エレベーターの安全確保、駐車場の安全確保など、建物全体の安全管理

不審者の発見などにおける居住者の協力や通報体制の確保

安全施設の整備・相談について、建築確認申請時に助言等ができる態勢を整える……都市開発部・警察

(2) 死角のないまちづくり(区民・区・警察)

区民の皆さんとともに、道路、公園、通学路など、暗く見通しの悪い場所はないか、危険な個所はないか、改めて犯罪防止の観点から総点検して安全を確保する

公園等の点検

江戸川区に現在ある419の区立公園・児童遊園・広場について、地域住民と連携してその点検を進め、必要な改善を図る。また、都立公園についても管理者にその趣旨徹底を図り、必要な点検・改善を進める……………都市開発部・土木部・環境促進事業団

道路の点検

区道路について点検を進め、必要な改善を図る。また、国道・都道については管理者と連携をとり、必要な点検・改善を進める……土木部

通学路の点検

通学路、通園路について、学校、幼稚園、保育園、保護者などと連携し、点検・改善を進める……教育委員会・子ども家庭部・土木部

駅前駐輪場の点検

区内各駅にある駐輪場について点検・改善を進める……土木部

(3) 防犯カメラの設置(区民・区)

駅前などの繁華街における防犯対策を進めるため、商店街・地域住民の設置運動を前提に、必要な支援を進める……環境防災部・生活振興部

(4) 商業施設等の防犯対策(区・警察・商店会)

店舗等の防犯力向上について検討を進め、安心して買い物のできる商店街づくりを進める……生活振興部・警察

(5) 学校、幼稚園、保育園、区民施設等の安全点検(区)

区の施設について、犯罪防止の面から総点検を行い、安全の確保につとめる。また、施設管理の面からも安全性の向上につとめる……………
関係各部・環境促進事業団・区民施設公社・教育委員会

2 ソフト面の対策

犯罪を防ぐには、一人一人の防犯意識の向上と地域をあげての取り組みが欠かせない。本区の特長である良きコミュニティを生かし、運動を推進する。

(1) 防犯意識の向上(区民・区・警察)

隣近所のあいさつ運動

外出する時など留守にするときは、近所にひと声かける。また、子ども

も達を地域で守る意識など、隣近所のあいさつ運動を進めていく……

生活振興部・教育委員会

防犯講習会の実施

地域の特徴や年代に合わせ、必要な防犯の知恵を高めるため、町会・自治会、くすのきクラブ、青少年育成地区委員会などの地域組織に対して、防犯講習会を開催する……関係各部・教育委員会・警察

学校・幼稚園・保育園での生活安全教育

日常の中で注意することなど、子ども達や保護者などに分かりやすい生活安全教育を進める……教育委員会・子ども家庭部

地域安全マップの作成

自分たちの地域の安全を高めるため、地域住民による安全マップの作成について研究を進め、役に立つマップづくりのお手伝いをする……環境防災部・生活振興部・警察

安全グッズの紹介

自転車の防犯ネットなど簡単なもので、ひったくりを防ぐことのできる安全グッズの紹介を進める……関係各部・警察

防犯に対する情報提供

広報えどがわ、ホームページ等を活用し、防犯に対する情報提供を進める……経営企画部・警察

(2) 防犯パトロールの強化(区民・区・警察)

町会・自治会、環境をよくする地区協議会、PTA、学校の先生、相撲部屋、商店会など、各種団体が、安全・安心まちづくりのため、パトロール等の自主的活動を進めている。情報の提供や各種の支援などにより、防犯意識を高めるとともに、その輪をさらに拡大する……関係各部・警察

(3) 不審者発見時の情報ネットワークの充実

トラック協会、新聞販売店、郵便局、牛乳販売店、宅配便、清掃事業など、日常の業務の中で、まちに出る仕事を生かし、情報ネットワークを拡大し、不審者の発見を高める……**関係各部・警察**

(4) 緊急避難場所の拡大

子ども・熟年者などが不審者に追いかけられたときの緊急避難場所として理髪店等が活用されているが、その拡大を図る……**関係各部**

推進体制の整備

- 1 これまでの防犯の取り組みを総合的な運動として推進し、さらに拡大するため、**環境防災部に江戸川区安全・安心まちづくり運動推進事務局**を置く
- 2 **区と小松川・小岩・葛西警察署**との情報連絡を更に密にする
犯罪状況等の情報連絡を深め、地域への防犯意識向上に資する
- 3 安全・安心まちづくり活動計画に基づき、関係機関との連携を深める
連合町会、環境をよくする地区協議会、防犯協会、母の会、保護司会、更生保護女性会、宅地建物取引業協会、建築士事務所協会、ビル防犯協会、民生・児童委員協議会、商店街連合会、私立幼稚園協会、私立幼稚園協会 PTA 連合会、私立保育園園長会、私立保育園保護者連絡協議会、国土交通省東京国道事務所、第五建設事務所、区立幼稚園 PTA 連合会、小学校・中学校 PTA 連合協議会、青少年育成地区委員会、青少年委員会、体育指導委員会、少年団体連合会、小学校校長会、中学校校長会、警察署、消防署
ほか

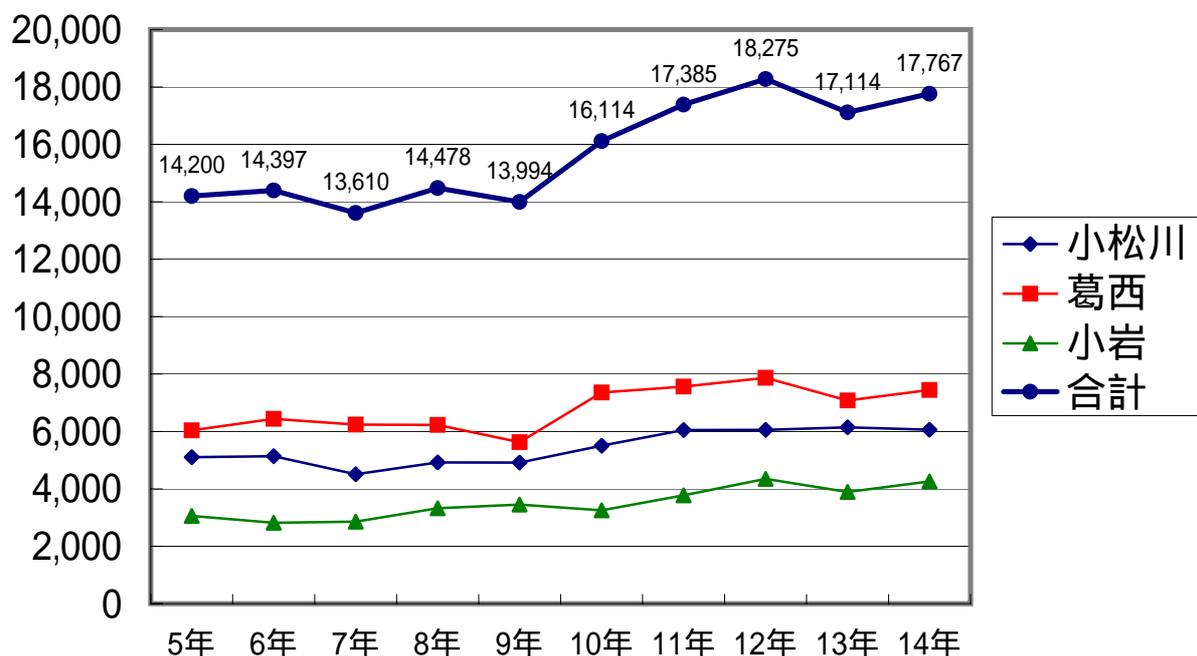
付属資料

- 1 江戸川区の犯罪発生件数の推移(過去 10 年間)
- 2 平成 14 年の犯罪発生件数(23 区)
- 3 平成 14 年の罪種別発生件数(上位 5 区)
- 4 地域の活動一覧表
- 5 区・警察の事業一覧表

過去10年間の犯罪発生件数(警察署別)

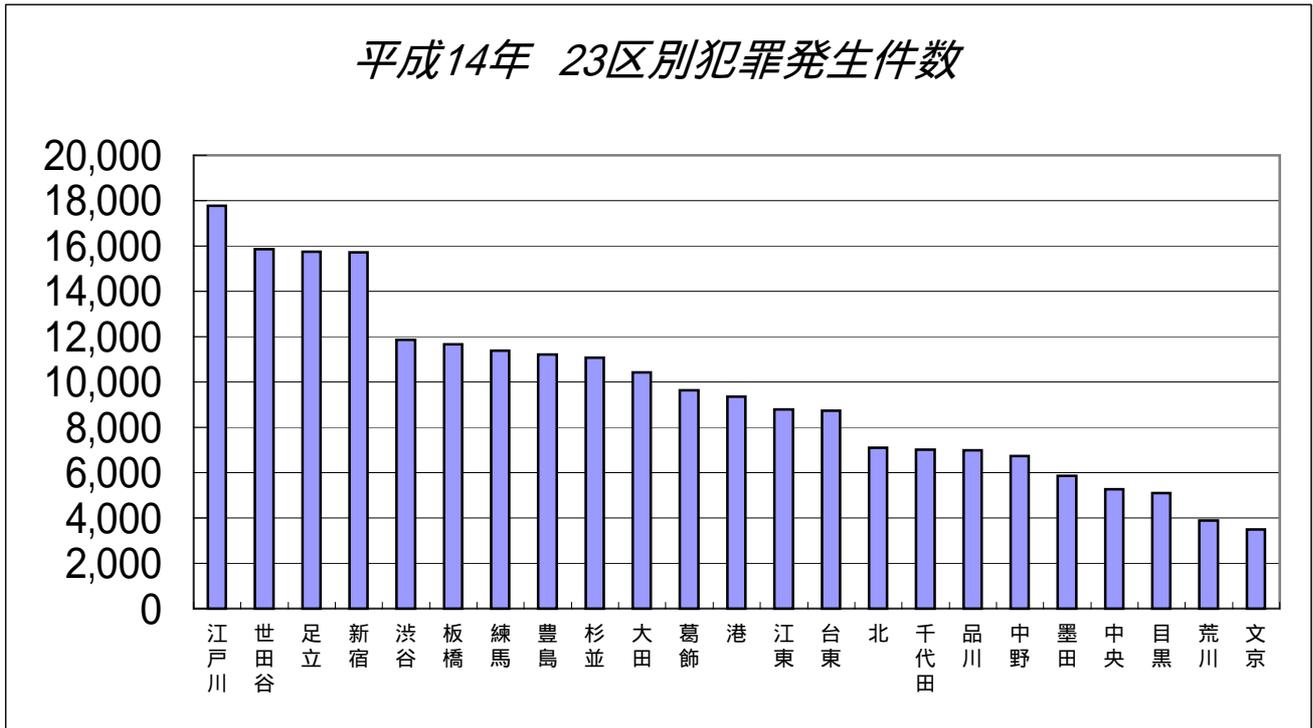
	小松川	葛西	小岩	合計
5年	5,103	6,037	3,060	14,200
6年	5,138	6,441	2,818	14,397
7年	4,511	6,241	2,858	13,610
8年	4,923	6,230	3,325	14,478
9年	4,914	5,628	3,452	13,994
10年	5,506	7,358	3,250	16,114
11年	6,048	7,561	3,776	17,385
12年	6,057	7,870	4,348	18,275
13年	6,145	7,077	3,892	17,114
14年	6,061	7,445	4,261	17,767

江戸川区の犯罪発生件数の推移(過去10年間)



(注) 1 警視庁の統計による。

2 犯罪発生件数とは、全刑法犯のうち、交通関係業務を除く刑法犯認知件数をいう。
ただし、平成14年は、警視庁ホームページ統計資料「東京都地区別刑法犯発生状況」による。(発生場所不明分を除く)



平成14年 罪種別発生件数上位5区

	侵入窃盗		強盗		ひったくり		車上ねらい		乗り物盗	
	区	件数	区	件数	区	件数	区	件数	区	件数
1	世田谷	2,632	江戸川	88	足立	480	足立	2,490	江戸川	6,658
2	杉並	2,107	豊島	82	江戸川	408	江戸川	2,322	世田谷	5,971
3	練馬	2,030	新宿	68	世田谷	323	練馬	1,389	足立	4,810
4	江戸川	1,911	渋谷	53	練馬	320	大田	1,267	板橋	4,217
5	足立	1,503	世田谷	52	杉並	282	葛飾	1,173	練馬	3,900

安全・安心まちづくり 地域の活動一覧

	活動項目	実施主体等内容	関連部署
ハード対策	防犯カメラの設置	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年 3 月 29 日設置 小岩地区防犯カメラシステム管理運用委員会 設置経費 3,400 万円、維持管理経費は区が負担 	環境防災部 生活振興部
	子ども 110 番（ピヨピヨマーク）の貼付	<ul style="list-style-type: none"> 平成 10 年 10 月開始 区立小学校 P T A 連合協議会 6000 枚配布 	教育委員会
	理髪店の緊急避難場所としての活用	<ul style="list-style-type: none"> 平成 14 年 4 月開始 区内理容組合に加盟する 346 店が参加 	健康部
	葛西ビル・マンション防犯協力会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年 6 月 30 日発足 ビル・マンションのオーナー、管理組合など 100 人で結成 	葛西警察署
ソフト対策	環境をよくする運動	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年度から活動指針に防犯意識の向上を追加 	環境防災部 生活振興部
	小岩地区夜間パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 平成 13 年度から実施 町会自治会、推進委員、商店会、交通安全協会等 720 人参加 	環境防災部 生活振興部
	おやじの会夜警パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 昭和 62 年から活動 青少年育成葛西第二地区委員会など南部 18 校 P T A と共に活動 	生活振興部 教育委員会
	P T A のパトロール	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の小中学校と連携して実施している地域や、父親が行っている地域もある。 	生活振興部 教育委員会
	U K S（宇喜田・小島 7 校合同連絡協議会）パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 平成 5 年 7 月開始 宇喜田・小島地区小中 7 校の P T A ・ O B 等約 70 名で活動 	生活振興部 教育委員会
	五校会ふれあい父親パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 平成元年 6 月開始 南葛西地区小中 5 校の P T A、O B 等で活動 夏休み期間中 21 時～22 時 	教育委員会
	青少年育成地区委員会パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 18 地区中 12 地区で実施 毎月～夏休み期間中毎日まで地区により異なる 	生活振興部 教育委員会
	町会自治会パトロール	<ul style="list-style-type: none"> 各町会独自に実施 夏休み・歳末等・活動者もそれぞれ異なる 	生活振興部
	伊勢ノ海部屋自警団	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年 2 月結成 伊勢ノ海部屋力士のほか瑞江町会も参加 	生活振興部
	京成小岩「イエローベレー隊」	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年結成 京成小岩商栄会・町会と共に実施 	生活振興部
	松本町ゲートボール愛好会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 11 年 7 月設立 美化運動・交通安全運動・防犯活動を実施 	経営企画部
	葛西地区自治連警察部会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 14 年 5 月 23 日設置 自治連に加盟する 89 町会から 200 名参加 	生活振興部 葛西警察署
	葛西地区暴走族対策連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 3 年 6 月 23 日設立 葛西自治連・青少年地区委員会・青少年団体に構成 	生活振興部 葛西警察署
	アマチュア無線「小松川セキュリティウェブ」	<ul style="list-style-type: none"> 平成 14 年 3 月設立 江戸川アマチュア無線クラブ会員が無線による、犯罪情報の提供及び防犯パトロールの実施 	経営企画部 小松川警察署
	江戸川区保護司会	<ul style="list-style-type: none"> 毎年 7 月 1 日～31 日の間「社会を明るくする運動協調月間」とし、区内各駅でのティッシュ等の配布、巡回パレード等の啓発活動の実施 区内小中学生から非行防止等の標語の募集 	総務部

安全・安心まちづくり 区・警察の事業一覧表

	事務事業等	関連部署
ハード対策	街路灯（80W水銀灯）・防犯灯（20W蛍光灯）の設置、助成、指導	都市開発部・土木部
	まちづくり協議会で道路・公園等の改善について検討	都市開発部・環促事業団
	「江戸川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」により、風俗営業に係る建築物の建築制限	都市開発部
	「東京都特別工業地区建築条例」により、キャバレーなど出店の規制	都市開発部
	「東京都建築安全条例」により、共同住宅のエレベーターについて防犯窓等の設置を指導。	都市開発部
	区立・私立保育園、私立幼稚園、認定保育室、認定保育所、学童クラブへの「警察官巡回プレート」の掲出	子ども家庭部
	区立小中学校・幼稚園、私立保育園、私立幼稚園、児童館への110番装置（警察への緊急通報装置）の設置	子ども家庭部 教育委員会
	区立保育園1園、学童クラブ1施設に侵入感知装置の設置（警察にて設置）	子ども家庭部・警察署
	区立保育園、私立保育園・幼稚園等の自動火災放送設備等の目的外利用	子ども家庭部
	道路・親水緑道・公園等、死角のないまち・施設づくりを推進	土木部・環促事業団
	駅前地下駐輪場への防犯カメラの設置	土木部
	街路灯、公園灯の照度不足の点検、照度確保、迅速な対応	土木部・環促事業団
	区民施設等への監視カメラの設置、夜間機械警備、夜間照明の設置	区民施設公社
	区民施設を子ども110番（緊急避難場所）との位置付け	区民施設公社
	区民施設にパニックボタン等の導入	区民施設公社
ソフト対策	広報えどがわによる防犯意識の向上	経営企画部・環境防災部
	3警察署生活安全課長との情報交換会の実施	環境防災部
	共同住宅建設事業者に対し、管理組合の設立、自治会・子ども会結成等、地域コミュニティ形成の努力義務を助言・指導	都市開発部
	「マンション通信」の発行支援による居住者に対する防犯意識の喚起	都市開発部
	清掃作業にあたり、不法投棄防止パトロール、集積所監視パトロールを実施し、違法行為防止を図る。	環境防災部
	民生・児童委員、児童相談所、学校等による連絡協議会の実施	福祉部
	在宅介護支援センターの「目配り訪問」を活用した防犯活動	福祉部
	安心生活応援ネットワークの活用	福祉部
	私立保育園、私立幼稚園の緊急連絡用ネットワークの整備	子ども家庭部
	「少年犯罪・薬物乱用の実態と背景」講演会の開催	健康部
	住まいづくりワークショップを通して、防犯意識を高める啓発	土木部
	学校における交通安全教室の実施	教育委員会
	学警連（中学校・警察との連絡会）の情報交換	教育委員会
	園児・児童・生徒安全研修会の実施	教育委員会
	いじめ、誘拐、虐待から子どもたちを守るための講習会をPTAが行う場合、講師謝礼の一部を助成	教育委員会
施設利用者（小中学生）への公衆マナーの指導	区民施設公社	
警察の取組	ホームページ上に犯罪発生マップを掲載	
	第6・7方面区内街頭犯罪検挙・抑止対策本部の設置	
	署単位に犯罪抑止対策プロジェクトを設置	
	宅配便・郵便局との情報交換協定の締結。新聞配達員等による犯罪抑止パトロール隊の編成	
	犯罪多発地域に犯罪被害防止を促す新聞折込チラシを配布	